

あ い さ つ

新座市立第二中学校長 小関 直

中学校入学の日が近づいてまいりました。

お子さんが新しい環境で学習することにより、一日も早く慣れることができるよう冊子にまとめました。内容をご理解のうえ、ご準備くださいますようお願い申し上げます。

1 学校の概要

本校は昭和46年4月に市内2校目の中学校として開校し、今年度で創立53周年を迎えました。学区には比較的規模の大きな小学校3校があり、現在の学級数は1年9学級、2年9学級、3年8学級、特別支援学級3学級、計29学級、生徒数980名です。保護者や地域の方々には、教育に対する関心が高く、大きな期待を感じています。

生徒は明るく活動的で、学習や部活動に積極的に取り組んでいます。部活動では例年いくつかの部が関東・全国大会に出場しています。今年度は、サッカー部が全国大会、演劇部が全国放送コンテスト、卓球部が関東大会に出場しました。新人戦では多くの部が県大会に出場し、好成績を収めることができました。硬筆・書き初め展や美術展、標語・ポスターコンクール等に多くの生徒が県・市で入選しています。

2 学校教育目標

【校訓】 まごころ

【学校教育目標】 明朗 向上 自主・自立

・めざす学校像

自信と誇りにあふれる学校

・めざす教師像

優れた資質・能力を備えた魅力ある教師

・めざす生徒像

凡事徹底できる生徒

今年度は「個に応じた学力の向上」「ICT機器の積極的な活用」「豊かな心と健やかな体の育成」「保護者・地域との連携」の4つを重点として定め、明るく元気な学校づくりを進めています。全職員で力を合わせ、生徒一人一人の理解に努め、生徒に寄り添った指導を行っていきます。豊かな人間性をもち、力強く歩むことのできる生徒を育てまいります。

3 特色のある教育活動

(1) 学力・体力の向上

令和3年度から令和5年度の3年間、新座市教育委員会の委嘱を受け、研究主題を「主体的に学習に取り組む生徒の育成 ～ICT機器の活用を通して～」とし、AI型教材「キュビナ」、学習支援ソフト「ロイロノートスクール」、
「Google Workspace」を積極的に活用し授業改善に取り組んでいます。さらに、毎週水曜日の放課後には、「ジャンプ アップタイム」を設定し、授業での補習的な学習する機会を設けています。今後も個に応じた学習が進められるよう努めてまいります。

(2) 生徒一人一人を大切にした生徒指導

教育相談担当教員、養護教諭、さわやか相談員、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー等との連携のもと、教育相談の充実を図っています。また、可能な限り授業のオンライン配信に努め、欠席生徒が同時双方向で授業に参加できるようにしています。教職員は情報共有に努めており、いじめや問題行動の兆候を早期に発見し、早急に対応できるようにしています。

(3) 教育環境の整備・充実

ふれあい連絡協議会、学校応援団、PTAの皆様のご協力のもと緑化委員会を中心に、年間を通して計画的に植栽活動を行っています。四季折々の花が咲き、階段・廊下は生徒の作品であふれるよう、環境教育、情操教育の充実を努めています。また、令和3年度より一人一台の可動式端末(Chromebook)及び「キュビナ」を保護者の方の理解を得て導入いたしました。今後も生徒一人一人に応じた教育環境整備を進めてまいります。

(4) 体験活動による豊かな心の育成

学校行事はもちろん、道徳教育の充実、ボランティア体験学習(アイマスク・車イス・手話体験等の福祉体験授業)等を通して、感性を磨く学習に取り組んでいます。

また、生徒会によるボランティア活動として、アルミ缶回収で得た収益金をユニセフに贈る活動が代々受け継がれています。生徒会が中心となったあいさつ運動が一年を通じて行われ、生徒の元気な挨拶が学校中に響き渡っています。

令和6年4月8日(月)の入学式には、新一年生を本校にお迎えできることを楽しみに、職員・生徒一同、心よりご入学をお待ち申し上げます。